

緑の相談コーナーだより

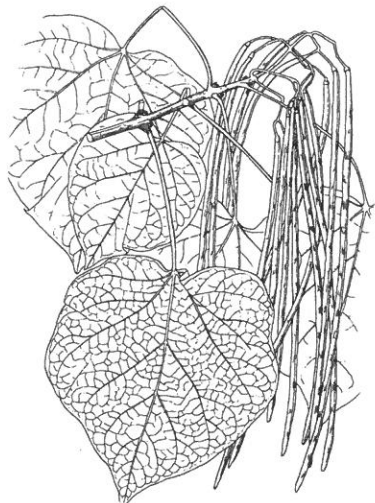
NO. 340 2013. 10 . 1発行

岩見沢市志文町 794 番地

いわみざわ室内公園「色彩館」

身近な樹木 “キササゲ” (木豇豆)

～ささぎ豆を思わせるような実をつける木～



Catalpa ovata G. DON
キササゲ

ノウゼンカズラ科キササゲ属の落葉性の高木で、古くから薬木として中国から渡来し、本州、四国、九州など日本各地で栽培が進みました。その後、明治期には北米原産のアメ리카キササゲなどの近縁種も導入され、近年では本道でもキササゲの仲間が見られるようになりました。通常、樹高は 10 m、胸高直径 30 cm くらいになりますが、大きなものでは高さが 15 m くらいに達するものもあります。花期は 6～7 月で、淡黄白色に暗紫色の斑点のある、直径 3 cm ほどの花が咲き、秋には長さが 15～30 cm のさや状の果実を下垂させます。植物名の由来ですが、キササゲ豆の実に似た果実をつける木であること

から名づけられたものです。

わが国に導入されて生育しているキササゲ類には、キササゲのほかに、トウキササゲ、アメ리카キササゲ、オオアメ리카キササゲなどがありますが、これらの見分け方は下表のとおりです。

表一キササゲ類の識別表

種 類	葉 の 形 態	葉の毛の有無	花 の 色
キササゲ	葉は通常浅く 3 裂	下面に毛がある	淡黄色
トウキササゲ	〃	毛がない	白色で紫点がある
アメ리카キササゲ	葉は分裂しない	下面に密に毛がある	白色で密に暗紫点がある
オオアメ리카キササゲ	〃	〃	白色で紫の筋がある

この樹木の用途は、庭園樹や街路樹として用いられますが、かつては雷電木と称して雷除けの効果があるとされました。材は灰白色で辺材、心材の区別がない環孔材で

す。気乾比重 0.47 程度と軽いので下駄や小細工ものとして使われます。古くは弓をつくり、梓弓にも使われました。また、生薬の梓実成は、キササゲの完熟果実を日干したもので、クエン酸、安息香酸、カタルパラクトンなどが含まれ、腎臓炎、水腫性脚気の利尿剤として煎汁を服用します。

きささげの千筋に垂るる秋暑かな 初山梓月

きささげを雨雫する別れかな 富安風生



バラ園

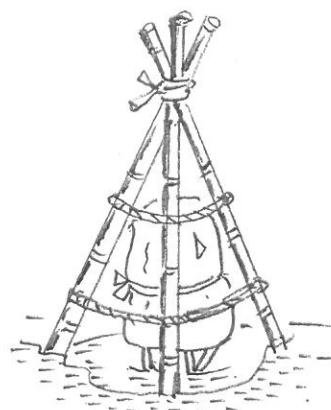
公園だより



今年は、春の低温の後、初夏は高温、真夏は干天と猛暑が続きましたが、取り入れの秋が近づいた頃から、長雨に悩まされました。このため、9月のバラ園は花の日持ちが悪く、花色や香りも物足りない感じでした。また、黒点病やウドンコ病に悩まされた方も多かったのではと拝察いたします。しかし、今月は秋冷の季節となり、朝夕は急激に気温も下がり、下旬には早霜も見られることでしょう。でも、朝晩の冷涼な気候は、美しい晩秋のバラに一層気品を添えてくれます。木枯らしが吹く前のひととき、白露をまとったバラが朝日に輝く一瞬は、見る人の心を虜にします。今月もぜひバラ園に足を運んで頂き、バラ園のフィナーレを楽しんで頂きたいと思います。

♥ 今月のバラ園からの一口メモは、バラの越冬対策についてです。岩見沢のような豪雪地では、バラが寒さの害に合うことは滅多にありません。

それは、外気温が－30℃になっても、雪の中では通常－5℃以下になることはないからです。岩見沢のように積雪が多い地方での基本的な方法を紹介すると、地植えのバラは、晩秋に株元の落ち葉などを清掃し、葉むしりをし、アバウトに剪定した後、石灰硫黄合剤などを散布します。この後、積雪による枝折れを防ぐため支柱を立てて冬越しさせます。鉢植えの場合は、水の溜まらないところの土中に鉢を埋めるのが安全です。この時、鉢を少し寝せ、掘り上げた土をかけておきます。今年植えたばかりで、耐寒性に自信を持たないバラも、鉢バラに準じて横倒しし、土をかけておくといよいでしょう。



枝折れを防ぐ

冬囲い

色彩館では、壁面の一重のツルバラであるカクテルが、少し淋しそうに咲いております。今は、山茶花やツバキの蕾がふくらんできており、花の季節を待っています。

南国温室では、3尺バナナの実が一段と大きく熟してきました。また、パキラにも実がついて、パパイアにも次々に結実が見られます。レモンやミカン類の実も色づいて、ここでは実りの季節を迎えております。

相 談 日 記

問 家庭園芸を始めたばかりで、植物を育てるための基本的なことのひとつである肥料やりについて悩んでいます。肥料は、むやみに多用すると植物を弱らせたり、花咲が悪くなったり、時には枯らす原因にもなったりすると聞きました。そこで、施肥管理のポイントと基本的な肥料の与え方などについて知りたいのですが？

答 まず、代表的な肥料分の働きについて知っておくことが大切です。チッソは根や葉をつくる役目をしますが、チッソ分が多すぎますと徒長し、軟弱に育ち、病虫害に侵されやすくなります。逆に不足すると生育が悪くなります。リンサンは花や果実の成長に必要な養分です。不足すると開花・結実が遅れたり、子実の品質や収量が低下します。また、カリは根・茎・葉を丈夫にします。カルシウムは土の酸性化を防ぎ、弱酸性に保つことで根の発育を良くします。マグネシウムは葉緑素の主成分ですから、不足すると光合成の働きが悪くなります。

肥料の与え方 植え付けや植え替え時に畑土や鉢土に混ぜておく元肥と、その後生育中に与える追肥があります。元肥は、根付きからの初期生育を助けるために与えるものですが、与えすぎると株が茂りすぎ、花が咲かなくなる原因になります。追肥は、生育にともなう肥料不足を補うもので、長い期間花をつける植物には欠かすことができません。水やり回数の多い鉢花などでは元肥よりも重要です。固形や粒状の肥料を播いたり、鉢土の上に置く置き肥と、液肥を水で薄めて水やり代わりに与える方法があります。置き肥には発酵油粕などの有機質肥料やエードボールなどの緩効性の化成肥料が利用されます。液肥は、肥料成分を水に溶かして直接与えるので速効性ですが、持続性がありません。そのため、生育の一時期だけ肥料を必要とする植物や、あまり多くの肥料を必要としない植物、肥料障害を受けやすい植物に使用します。

施肥管理上の留意点

〈肥料（基肥）の与え過ぎはタブー〉

肥料の施しすぎ



根が水分を奪われ
て塩漬状態に

肥料が少ない



根が健全で水分や
養分を吸収します

〈こんな時には追肥を与えない〉

冬の休眠期



花芽分化期



植え替え直後



弱っている時



(年1度咲く植物)

開花中



清楚なキク状の花を咲かせる～マーガレット 花言葉 恋占い



マーガレットは、カナリー諸島原産の多年草ですが、年数を経ると茎の下部が木質化するので、和名はモクシュンギク（木春菊）といいます。ヨーロッパで改良されたものが現在の栽培種で、原種は頭花がもっと小さく、葉が肉厚です。頭花は直径5 cmほどで、舌状花は白色のほか、ピンクや黄色もあります。花だけ見るとフランスギクに似ていますが、葉は細かく切れ込み、フランスギクのように耐寒性はありません。また、マーガレットは英名（Margaerite）ですが、フランスではフランスギクのこと、世間でもこの名が流布しています。なお、マーガレットはギリシャ語の「真珠」の意味で、マルガリーテが語源といわれます。春から初夏にかけて花を咲かせ、花束やフラワーアレンジメントなどの切り花だけでなく、春の鉢花としても人気があります。手入れのポイントは、日当たりがよく、温暖な場所で育てることで、15～20℃が生育適温です。冬に凍らせなければ越冬します。花が終わったら株を切り詰め、半日陰で夏越しさせましょう。

10～11月の園芸講座・行事案内

市民園芸講座の内容紹介

❖ 冬支度を始めた岩見沢公園の植物観察

日時 10月 6日（日） 9：30～12：00

講師 山野草研究家 北本 毅 さん 定員 40人 参加料 無料



❖ 庭木の冬囲い方法

日時 10月 13日（日） 13：00～15：00

講師 馬渕建設（株） 久保 隆 さん 定員 40人 参加料 無料

❖ 花木・庭木の剪定と管理

日時 10月 20日（日） 13：00～15：00

講師 樹木医 福士 正明 さん 定員 40人 参加料 無料

❖ 冬の室内植物管理のポイント

日時 11月 3日（日） 13：00～15：00

講師 緑化相談員（樹木医） 泉 征三郎 定員 40人 参加料 無料

編集・発行 北海道グリーンランド（空知リゾートシティ株式会社）

お問い合わせは 室内公園「色彩館」緑の相談コーナー 25-6111 まで